

G20大阪サミットに向けた 「インフラ輸出戦略」の課題

石炭火力支援に対し高まる国際批判

来日インドネシア住民・NGOの証言から考える

日本政府は「インフラシステム輸出戦略」において、「相手国の要請」がある限り、「高効率」の石炭火力発電所の輸出を継続するとしています。しかし、気候変動対策の国際的な枠組み「パリ協定」の下、世界で脱石炭の流れが急速に広がっている他、輸出先となる地元でも、大気汚染や生計手段への影響、深刻な人権侵害が問題となっているケースが後を絶ちません。こうしたインフラ輸出の継続は妥当なのでしょうか。

本勉強会では、来日するインドネシア住民・NGOから、国際協力機構（JICA）が支援を続けるインドネシア・インドラマユ石炭火力発電事業・拡張計画を事例に、環境社会影響や人権侵害、事業の違法性や必要性、相手国の債務問題など諸問題を報告してもらいます。G20を前に、石炭火力の輸出を推進すべきでない理由、また、日本政府が向き合うべき課題を考えます。

プログラム

① 気候変動対策の観点から

G20で問われる日本の石炭火力推進方針の課題 — 田辺有輝 / JACES

② インドネシア・インドラマユ石炭火力・拡張計画の課題

住民の証言（逐次訳あり）

③ 法遵守と人権保障の観点から

環境訴訟と環境保護活動家への人権侵害 — ロナルド・シアハアン / インドネシア環境フォーラム（WALHI）

④ 事業の必要性、被援助国の債務持続可能性の観点から

インドネシアのインフラ開発とジャワ島の電力事情、国有電力会社の債務問題 — ワヒュディン / WALHI 西ジャワ

2019年 **4月11日** [木]

13:30～15:30 [13:00～ロビーにて通行証配布開始]

参議院議員会館・102会議室 **最寄駅** 永田町駅1番出口 / 国会議事堂前駅1番出口

参加費
無料

お申込み

WEBサイトの参加申込みフォームからお申込みください。

<http://www.foejapan.org/aid/jbic02/indramayu/190411.html>



**No Coal,
Go Green!**

共催 | 国際環境 NGO FoE Japan、「環境・持続社会」研究センター（JACES）、気候ネットワーク
協力 | 熱帯林行動ネットワーク（JATAN）、Fair Finance Guide Japan、国際協力 NGO 日本国際ボランティアセンター（JVC）、
A SEED Japan、350.org Japan、アジア太平洋資料センター（PARC）、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン
お問合せ | FoE Japan（担当 杉浦、波多江） E-mail sugiura@foejapan.org 電話 03-6909-5983 FAX 03-6909-5986
関連 WEB サイト | [インドネシア・インドラマユ石炭火力発電事業について](http://foejapan.org/aid/jbic02/indramayu/) | [「JBICの石炭発電融資にNo!」プログラムについて](http://sekitan.jp/jbic/)